

令和三年度



三宅村立三宅中学校

# 学校だより

第 156 号

令和 4 年 3 月 1 日

校長 小澤 秋仁

東京都三宅島三宅村伊豆 470

TEL 04994-2-0049

FAX 04994-2-1376

<http://miyake-chu.sakura.ne.jp/>

冬季五輪

校長 小澤 秋仁

教員になってから5年が経った頃は、部活動の指導力をさらに上げたいともがき苦しんでいる時でした。先達に学ぶしかない、毎年、守りの堅い常勝チームを創り上げるある先生のお教えを乞おうと門をたたきました。毎週のように、そのある先生の所属する学校に生徒を連れて、合同練習に通いました。体育館に入ると、私と同じように複数の悩める教員たちが集まり、指導法を学んでいました。中には明らかにある先生のチームより強力な生徒たちを連れてきている方もいました。その場面をみて、私が質問をぶつけたのです。「先生より強いチームが来ているのに、練習方法を皆さんに伝授してしまっているのですか、勝てなくなってしまいませんか。」と尋ねるとある先生は「そんな考え方だったらいつまでも強いチームを作れないよ。ライバルあってのスポーツだろ。練習方法を誰かに教えた瞬間、新しい練習を考えればいいだけの話だ。」この言葉を聞いた途端に、自分のチームのことで考えていない奥行きのない自分を恥じ、顔を上げることができませんでした。北京冬季五輪の競技者たちの振る舞いを観ながら、そんな数十年前を思い出しました。

北京冬季五輪のスノーボード女子ビッグエア決勝において、岩淵麗楽選手は2回目の試技を終えて4位につけます。メダル奪取を目指して勝負に出た3回目に、女子初の超大技「トリプルコーク（縦3回転）」に挑戦しました。着地はしたもののその反動で体勢を崩し、尻もちをついてしまいました。それは、メダルに届かないこと意味していました。しかし、立ち上がり滑り降りてくる岩淵選手のもとへ、先に滑り終えたアメリカやカナダ、中国などの総勢7人のライバルたちが駆け寄り、次々と抱き合い岩淵選手の演技を称賛しました。

東京五輪のスケートボードにおいても同じような場面を記憶しています。予選を1位で通過していた15歳の岡本碧優選手は本戦でミスが続き、ラストの3本目に果敢に大技に挑戦したものの転倒してしまいます。悔し涙にくれる岡本選手に各国の選手が駆け寄り、抱きしめて慰め、みんなで抱え上げたのです。国境を越え、高得点であろうと失敗であろうと、演技を称え、健闘を称えあう姿に感動しました。

ボード系の選手たちは、練習中に成功した技を動画にアップして配信するのだそうです。その技を参考に自分の技術を研鑽するといいます。つまり、競技者同士は、メダルを争うライバルであり自らを導くコーチでもあるのです。

## 教育目標

「ふるさとの発展に進んで貢献する生徒の育成」

- 1 目標をもって意欲的に学ぶ生徒
- 2 人間性・社会性をはぐくみ、相手の立場に立って行動する生徒
- 3 心身ともに健康で明るい生徒

銀メダルで沸いたカーリングには、審判がなく競技者同士のセルフジャッジで行う競技です。それゆえ自身の公正な態度、対戦相手に対する信用が求められます。

「The Spirit of Curling」という基本理念の一部をご紹介します。

～前略～ カーラー（カーリング選手）は勝つためにプレイするのであって、決して相手をおとしめるためにプレイするのではない。真のカーラーは、不正をして勝つくらいなら負けることを選ぶだろう。

～中略～ ゲームというものは、プレイヤーそれぞれの技量を明らかにするためにある。しかし同時にゲームの精神について言えば、善きスポーツマンシップ、思いやりある態度、そして誇り高い振る舞いが求められている。この精神は、ルールの解釈や適用のしかたに生かすべきであるのみならず、アイスの上にあるとなきとにかかわりなく、すべての参加者が行いの鑑とすべきものである。

「勝つためにプレイするが、相手をおとしめるためにプレイするのではない」「善きスポーツマンシップ、思いやりある態度、そして誇り高い振る舞い」この冬季五輪では、様々な競技に、この Spirit を感じることができました。

ある先生の言葉には続きがあります。

「自チームだけが発展しても、そのチームはやがて衰退する。自分のチームを盛り上げるには、この地区全体のレベルを上げなければならないんだよ。」

学年末考査直前の放課後学習教室をのぞくと、生徒同士で問題を出し合う姿、教え合う姿を見ることができました。三宅中学校は、ライバルでありコーチでもある仲間とともに、みんなで令和3年度の結びの1か月を盛り上げます。

## 3月の生活目標

**3年生を気持ちよく送り出そう**

## 3月の保健目標

**1年間の健康生活を振り返ろう**

## 新入生中学校体験(2月10日)

三宅小学校6年生14名が中学校の授業や部活動を体験しました。体育ではボールを使った運動、国語では漢字の成り立ちについて、とても活発に学習活動に取り組んでいました。

部活動体験では、吹奏楽部の演奏を鑑賞した後、野球部、バレーボール部の活動を見学・体験しました。小学校の担任の先生によると、訪問前はかなり緊張していたようですが、今回の体験が安心感につながり、中学校入学を楽しみにしてもらえたら嬉しいです。



## 三宅村 食育推進の取り組み

三宅村では、保育園・小学校・中学校・高校に加えて、村役場、出張所、保健所の食育担当者が連携し、食育の充実を図るための取り組みを行っています。

今年度、三宅中学校で取り組んだ食育の一部を紹介します。

### ①調理場見学、食品ロス軽減レシピ考案



作っている過程を見学することで感謝の気持ちが高まり、残菜量の減少にもつながりました。

夏休みに、余った食材、野菜の皮などを活用したレシピを考案し、調理する課題に取り組みました。

### ②魚離れ解決プロジェクト



生徒が自分たちの食事の課題を探り、地産地消の観点からも「魚離れ」を食い止めるための解決策を考えました。

### ③「給食検定」の実施

食についてのクイズ、配膳や片付けのタイム測定、盛り付けやマナーに関する豆知識など、食への意識向上につながる様々な取り組みを行いました。

※食育の取り組みについてはホームページでも紹介しています。



## 令和4年3月・4月 主な予定

※感染症状況等により変更になる場合があります。

- 3/1日(火) 都立高校合格発表 専門委員会
- 2日(水) ⑥カット 14:35 下校
- 3日(木) 中央委員会
- 4日(金) ⑥薬物乱用防止教室
- 7日(月) 生徒朝礼 避難訓練
- 8日(火) 三宅島の話を聞く会(3年)
- 10日(木) 修学旅行(~12日)
- 14日(月) 3年生を送る会
- 16日(水) 卒業式予行 14:35 下校
- 17日(木) 卒業式準備 14:45 下校(3年13:10)
- 18日(金) 第15回卒業式
- 23日(水) 保護者会 14:45 下校
- 24日(木) 大掃除
- 25日(金) 修了式・離任式 11:20 下校

※スクールカウンセラー来校予定日

1日(火)・8日(火)・15日(火)

- 4/1日(金) 開校記念日
- 6日(水) 始業式・着任式
- 7日(木) 第16回入学式
- 8日(金) 対面式 給食始  
保護者会・PTA総会
- 11日(月) 仮入部始

### お知らせとお願い

- ◆3年生の修学旅行について(2月末現在)  
まん延防止等重点措置が解除された場合には、3月10日(木)から12日(土)まで、八丈島を目的地とした修学旅行を実施する予定です。
- ◆卒業式の参列人数制限について  
3月18日(金)の卒業式の参列者については、卒業生の保護者・ご家族までとさせていただきます。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

◆学校だよりカラー版はホームページでご覧になれます。  
(「三宅村立三宅中学校」で検索してください)